

2018年度

第36回 インテリアコーディネーター資格試験

二次試験（プレゼンテーション・論文試験）問題用紙

試験日：2018年12月2日

試験時間：12：30～15：30（180分）

（試験上の注意）

1. 受験票は机の上に出しておいてください。
2. 最初に問題用紙（1部）、解答用紙（1枚）および下書き用紙（課題Ⅰ用、課題Ⅱ用 計2枚）があることを確かめ、不足があれば速やかに手をあげて試験監督員に申し出てください。
3. 問題用紙は試験開始の合図があるまで開かないでください。
4. 受験番号と氏名を必ず解答用紙に記入してください。
5. 試験中使用できるものは、直定規（30cm以内）、三角スケール、三角定規、勾配定規、コンパス、ハキサスケール（直定規と三角スケールの機能のみを持つもの）、型板（テンプレート）の円定規だけのもの（なお、一部に角度表示のあるものでも可）、字消し板、製図用ブラシ、色鉛筆（18色以内。色の選択は自由。軸（木や紙）に芯を通したものに限る。）、ミニ鉛筆削りおよび筆記用具（鉛筆・シャープペンシル、プラスチック製の消しゴム）です。
6. 上記5.に掲げるもの以外（例えば携帯電話、電卓、参考書など）のものの使用を禁止します。
7. 試験問題の内容に関する質問については、誤植の確認以外の一切にお答え致しません。乱丁落丁があれば、手をあげて試験監督員に申し出てください。
8. 試験開始から120分以内および試験終了5分前以降は退室を禁止します。退出可能時間内に退出される方は手をあげて合図をし、解答用紙を試験監督員に手渡して、静かに退室してください。（退出後に、問題訂正がおこる場合があることをご承知おきください。）
9. 問題用紙および下書き用紙は持ち帰ってください。

公益社団法人 インテリア産業協会

【禁無断転載】

解答にあたって

課題Ⅰプレゼンテーションおよび課題Ⅱ論文の各設問の解答にあたっては、未記入の解答欄が生じないように、時間配分に注意すること。

[課題Ⅰ プレゼンテーション]

「畳コーナーのある生活空間のインテリアコーディネート」

二人暮らしの共働きの夫婦から、購入予定の中古マンションのLDKのインテリアコーディネートを依頼された。図-1に示すLDKに、キッチンコーナー、リビングコーナー、多目的コーナー、畳コーナーを設け、友人を招いたり、夫婦共通の趣味を楽しめるようにしたい。

下記の条件により、依頼主に説明するためのプレゼンテーション資料を作成しなさい。

1. 空間の条件

- 建物はRCラーメン構造7階建ての3階部分である。
- 平面および開口部の形式・位置・寸法は、図-1に示すとおりである。
- 開口部の形式・位置・寸法は、変更できない。
- 内装制限は受けないものとする。
- 床は、既存のフローリング（オーク材、幅150mm、目地は南北方向）をそのまま使用する。

2. 依頼主の要求条件

(1) キッチンコーナーについて

- 既存のキッチンセットの位置や大きさは変更しない。
- 既存の食器棚付きカウンターテーブル（高さ700mm）に、軽食時に使用する椅子2脚を配置する。
- 冷蔵庫を置く。

(2) リビングコーナーについて

- 位置は図-1内の北東エリアとし、3人掛けソファ、ロースツール、センターテーブル各1を置く。
- 壁面にオープンな飾り棚兼書棚（幅2000×奥行400×高さ2000mm）を置く。書籍や工芸品を飾るために、固定棚板と仕切り板をグリッド状に組み、天井照明で演出する。

(3) 多目的コーナーについて

- 位置は図-1内の南東エリアとし、作業用テーブル（幅1600×奥行800mm）と椅子2脚を置き、普段はパソコン作業や読書などを行う。来客時にはキッチンコーナーの椅子を合わせて用い、食事などにも利用する。
- 壁面には天井までの造り付け収納（幅2500～2700×奥行600mm）を設け、作業に必要なものを置く。
- 収納の扉は折りたたみ式とし、内部には高さを調整できる棚板を設ける。

(4) 畳コーナーについて

- 位置は図-1内の南西エリアとし、他のコーナーとの一体感を確保するために壁や建具は設けない。ただし、南側開口部の室内側には明かり障子を設ける。
- 床の高さは既存の床面から300mm上げ、畳部分の広さは4.5帖(0.5帖は800×800mm程度)とする。また、南側には花を飾るために奥行300mmの板敷き部分を設ける。
- 壁面には天井までの造り付け収納を設け、引き戸で開閉する。座布団などのほか、夫婦の着物を入れる和箆箆(幅1200×奥行450×高さ1750mm)を収納する。
- 夫婦の食事や晩酌を楽しむための木製の座卓(幅1400×奥行800mm)を置く。

(5) その他のインテリア計画

- 照明計画(照明器具の配置)を提案すること。
- ウインドトリートメント、ラグ、インテリアグリーンを配置すること。

設問-1 インテリア平面図の作成(着彩すること)

解答欄1に平面図を作成しなさい。その際、依頼主にインテリアのイメージをわかりやすく伝えるために、色鉛筆で着彩しなさい。

- コーナー名を記入すること。
- 家具については、形状がよくわかるように表現し、名称と寸法を記入すること。
- 照明については、ブラケットやスタンド式の照明は記入し、天井面の照明は破線で図示すること。
- 床の仕上げ材を記入すること。

設問-2 インテリア立・断面図の作成(着彩はしなくてよい)

解答欄2にA-Aの位置と方向での立・断面図を、解答欄3にB-Bの位置と方向での立・断面図を作成しなさい。

- 家具などのインテリアエレメントを記入すること。
- 収納の内部構造を実線または破線で記入すること。
- 壁と天井の仕上げ材、主要な高さ寸法を記入すること。
- 床、壁、天井などの断面線、開口部(建具を含む)を表す線は、実線で図示すること。
- 畳コーナーの床下の内部構造は表現しなくてよい。

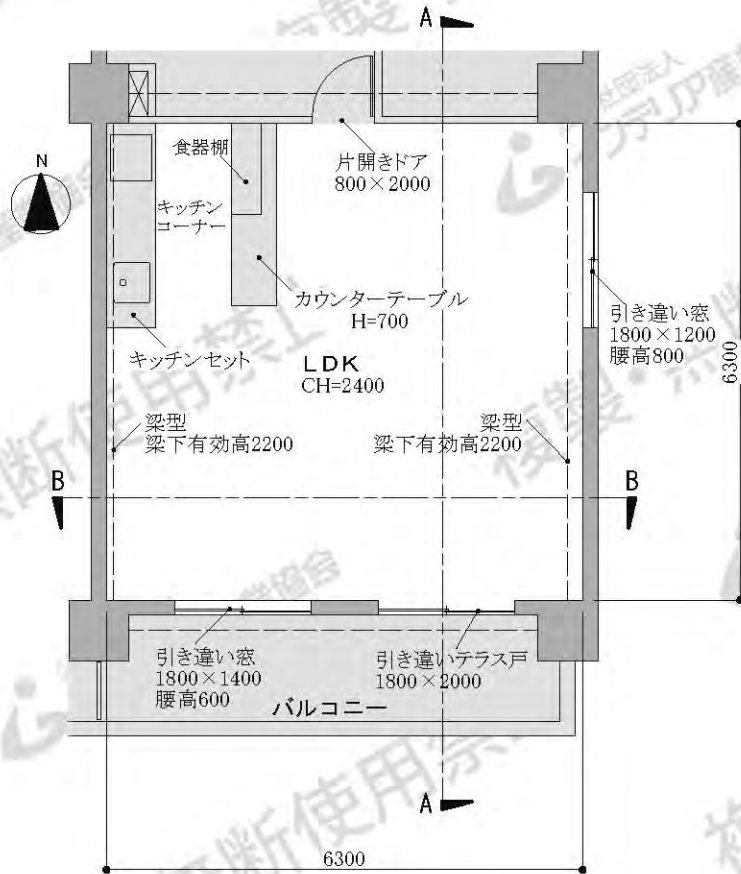


図-1 現況平面図 (S=1:100)

- 網掛け部分 は計画対象外
- 構造壁はRC造

[課題Ⅱ 論文]

設問 寝室における床の仕上げ材について

依頼主から、寝室の床材を「カーペットかフローリングのどちらにするか迷っている」と相談された場合、インテリアコーディネーターとしてどのようなアドバイスをしますか。

カーペットについてはウールを、フローリングについては無垢材を想定し、それぞれについてキーワードを3つ選んで(重複可)、解答欄4に550~600字で記述しなさい。

(キーワード)

- 吸音性
- メンテナンス
- 吸放湿性
- デザイン性
- 歩行感
- コスト

なお、記述にあたっては、課題Ⅰとの関連性は考慮しなくてよい。